

油汚れを吸い込む高密度泡による マイルド洗顔フォームのご提案

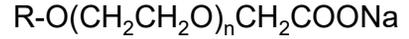


理想の洗顔フォームとは



カオ-アキポRLM-45NV

超低刺激性 洗浄基剤



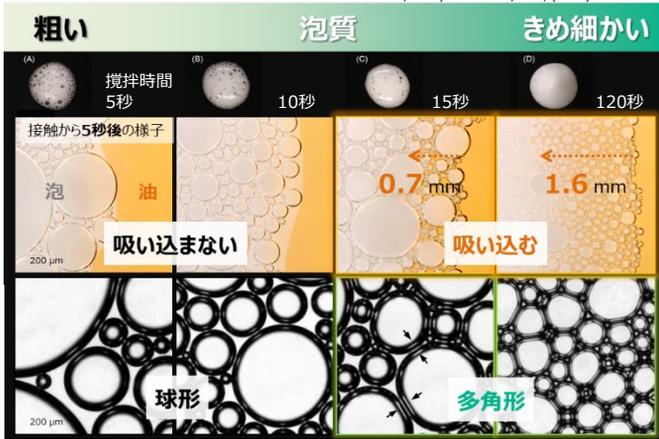
化粧品表示名称 ラウレス-6カルボン酸Na
INCI Name SODIUM LAURETH-6 CARBOXYLATE
中文INCI：あり 公定書：外原規

これまで泡と洗浄力には直接の関係性はないと思われていましたが、花王の研究により泡が油を吸い込み洗浄力が向上する現象が観察されました。高密度泡は脂肪酸石鹼系の処方ですが、今回お示す配合処方により、アミノ酸系活性剤やラウレス硫酸Naといった基剤でも高密度化が可能です。またエーテルカルボン酸を使用することで擦らず自然に汚れが落ちるという研究結果も報告されております。今回これらの技術を組み合わせることで「優しく洗ってしっかり汚れを落とす」洗顔フォームをご紹介します。

高密度な泡は油汚れを吸い込む

試料 10 wt% 脂肪酸K水溶液(C14:C16 = 1:1)
方法 攪拌時間を変えて、泡質の異なる泡を調整

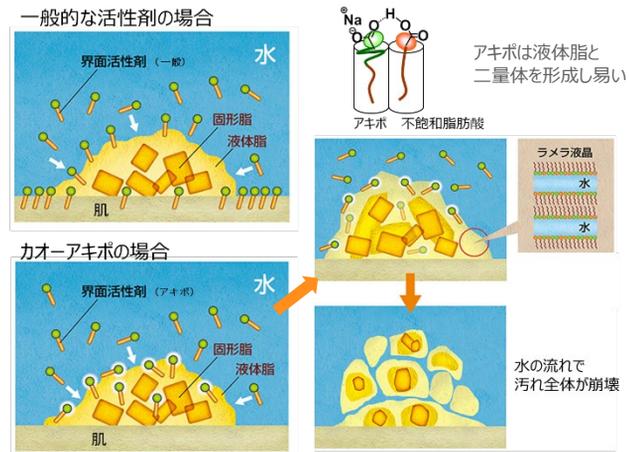
Kusaka et al., J. Phys. Chem. B, 122, (2018) 9786-9791



高密度な泡では、物理的な形状による吸引力が発生

カオ-アキポによる自発洗浄

肌に付着した皮脂汚れの洗浄実験



物理力をかけずに汚れが落ちる

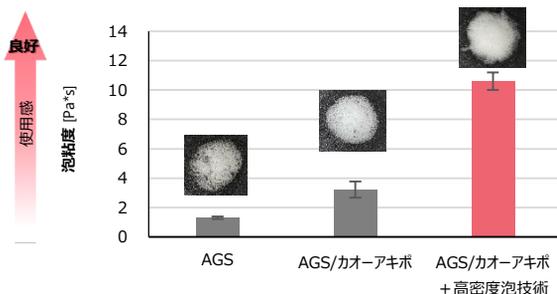
高密度泡洗顔フォーム

泡粘度

試験方法：15wt%界面活性剤水溶液を3.5倍希釈になる様に泡立てネットで、水道水を含ませて30秒間泡立てた後に、泡を100mlピーカーに擦切り充填し、泡粘度を計測した。
*B型粘度計、ローターM3、10rpm (1分間)



AGS：ココイルグルタミン酸TEA



刺激抑制効果

モデルタンパク（ゼイン）の変性・溶解を抑える効果
→ 角層成分の溶出抑制を示す



ゼイン：水に不溶のトウモロコシ由来タンパク

試験方法：5倍希釈水溶液にゼインを添加し室温にて2時間攪拌した後、デカンテーションにより可溶化成分を除去、残渣を80℃で12時間乾燥後、重量を測定し、「溶解量=添加量-残渣の重量」からゼイン溶解量を定量化。

